



浜 川 ハ 通 信

27年6月1日
②0号発行



浜通り訪問リハビリステーション

みなさんこんにちは！！6月になり、だんだんと梅雨の足音が近づいてきました。さて、湿度も気温も高くなるこの季節、着替える頻度も増加してくるのではないのでしょうか。今回の浜リハ通信では、着替えのポイントと、ある利用者様のお話です！！



着替えのポイント～上衣～

ポイント①～服の素材と大きさを考える～

たんに着替えるだけなら大きいサイズの方が便利ですが、手が上がらない方や開きにくい方は前開き式の伸縮性のある素材を選択するなど、上肢や体幹の状態に合わせて服を選択しましょう。

ポイント②～利き手の袖通しは後から～

一般に袖通しは、動きづらい側の腕から先に袖を通します。理由は服がまったく身につけられていない状態のほうが腕を動かさずに袖通しができるからです。

ポイント③～袖抜きは反対の肩先を外してから～

後から脱ぐほうの袖の肩先だけをあらかじめはずしておいてから利き手側の袖を脱ぐことで、両側の袖ぬきが楽にできます。



脱ぎ方の例です。
(ポイント3)

～おじいちゃんの残してくれた庭～

右の写真は庭の見回りや手入れを日課としている利用者様と綺麗に咲いたジャーマンアイリスの花です。このお庭は元々畑だったそうですが、ご主人が亡くなる以前、お花の好きなこの方のために綺麗なお庭に模様替えをし、お花を眺めながら散歩ができるようにしてくれたそうです。それからは好きなお花を植え、春になるとチューリップからシャクナゲ、ジャーマンアイリスと色とりどりの花が鮮やかに咲き誇ります。「今はお花を見ながら散歩するのが楽しみなんだ」とお話しされ、花が倒れないように棒を立て紐で固定したり、次の年にもきれいに咲くよう花びらを摘んだり散歩がてら出来る範囲で手入れをしています。私たちリハビリ職員は利用者様の身体機能や生活環境を考慮し、出来る範囲で好きな事をするお手伝いができればと思います。



※写真につきましては利用者様から同意を得て掲載しています

